

- ・仕事に就ける日数の減少にともなって、日雇雇用保険を活用できなくなり、加入者も急激に減少している。

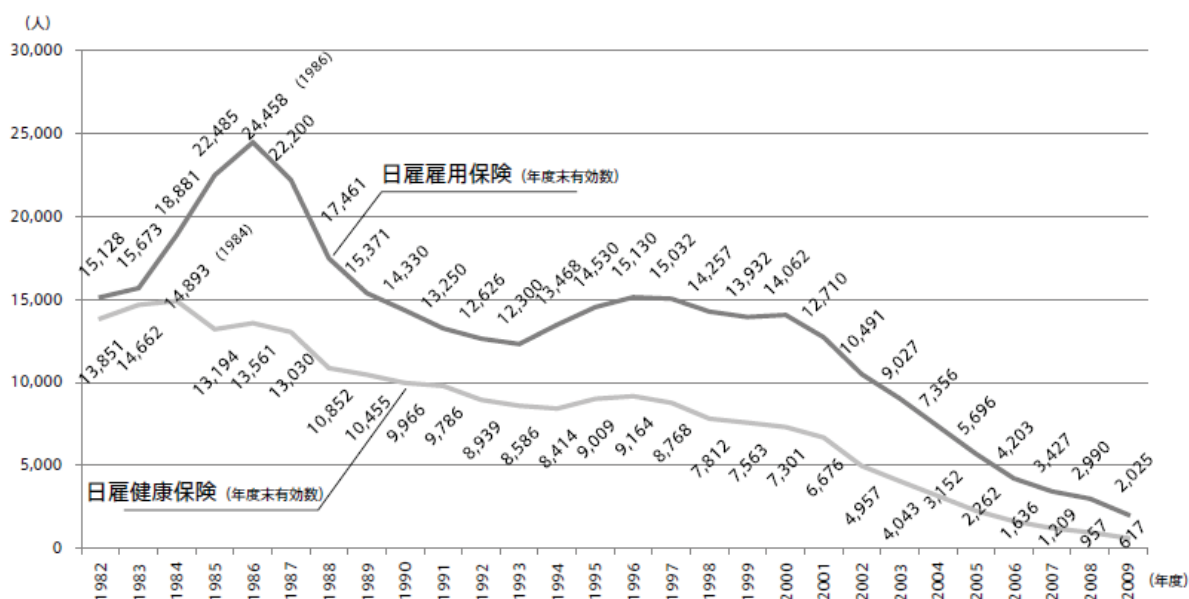


図 6-1-6 日雇労働 雇用保険日雇労働被保険者手帳（白手帳）の推移

資料：あいりん労働公共職業安定所、各年度の『事業概況』より作成

## 今日の日雇労働者像

- ・ 西成労働福祉センター『あいりん日雇労働調査報告書』2009年の分析をまとめると、
  1. 一般に、50歳代の年齢層が相対的に多い。寝泊まりする場所では、5～6割が簡易宿泊所、2割がアパート、あとの2割が臨時夜間緊急避難所である。
  2. あいりん地域で仕事をするようになった時期は10年以内という者が5～6割で、比較的高齢になってこの地の日雇仕事に従事するようになった者が多い。
  3. 日雇労働に従事できている者の6割前後は、月11万円以上の収入を得ている。
  4. 50歳代後半～60歳代前半の者においては、簡易宿所ではなく臨時夜間緊急避難所を利用する者の割合が増えて約35%程度となり、高齢者特別清掃事業の利用者が多く含まれる。
  5. 彼らは、おおむね1カ月に3～4回の特別清掃の仕事に就くことができ、7割の者が1～5万円の収入を得ていた。中には、アルミ缶回収等で生計を立てている者もいくらかいる。

# I. あいりん地域の日雇い労働の現状

## 2) 日雇い労働者の高齢化

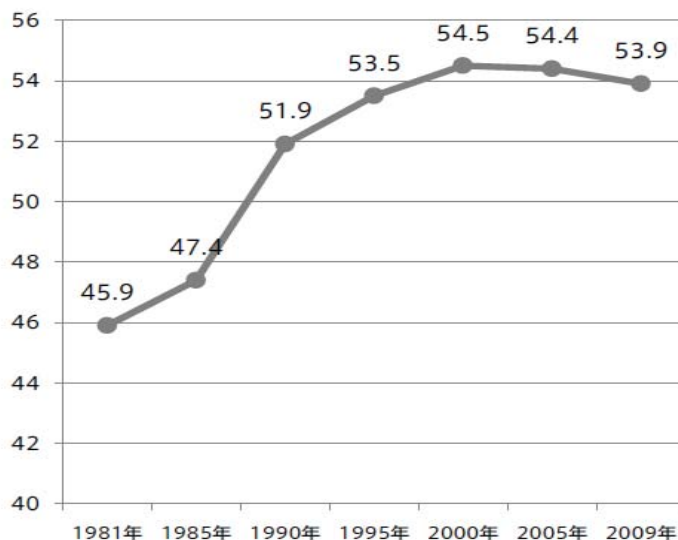


図 6-1-8 あいりん労働公共職業安定所の日雇労働雇用保険日雇労働被保険者手帳  
(白手帳)所有者の平均年齢の推移

資料：あいりん労働公共職業安定所、各年度の『事業概況』より作成

# I. あいりん地域の日雇い労働の現状

## 3) 若者就職困難層の流入

1. 西成労働福祉センター 2010年より開始された総合相談窓口の来所者  
2011年、相談者のうち「40歳以下」が53人(59.6%)、平均年齢44.8歳。  
(西成労働福祉センター『事業概要』2011年版)
2. 市立更生相談所、2009年6・7月 生活保護敷金受給者407人のうち、  
来釜1年未満27.5%  
この1年未満の者の特徴
  - ・46.5%が50歳未満
  - ・直近のp生活場所:46.4%が釜ヶ崎以外
  - ・直近の仕事:「土木・建設」が58.9%(沖野充彦報告レジュメ「西成特区と釜ヶ崎の未来」より)